

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	保存整備委員会の開催	回	目標	3.00	4.00	3.00
	公有化を行ったのちに史跡公園として整備するにあたり、整備基本計画の策定に向けて協議を行う。		実績	3.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	整備基本計画の策定		目標	0.00	1.00	0.00
	保存整備委員会において、適切な保存管理と公開活用、史跡の価値を的確に表現した今後の史跡整備に向けた基本方針である「整備基本計画」の策定を行う。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	史跡を将来にわたり安定的に保存していくために公有化は最も適切な方法であり、今後、史跡の活用を図るためには、史跡公園として整備・公開していくことが最も有効な方法である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	国指定史跡の保存活用は、行政が責任をもって行うべき事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	史跡整備のための各種計画の策定は、国で定められている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現状の手段が計画策定事業では一般的であり、問題は見られない。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	史跡を公有化し保存を図るとともに、史跡公園として整備し公開していくことは、本市のみならず、地域全体にとっても有益である。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	公有化は終了したが、整備開始まで公有化した土地の維持管理にコストがかかる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	国史跡追加指定区域の公有化を実施し、完了した。今後、史跡を安定的に管理し、整備していくために整備基本計画の策定を実施し、発掘調査を行っていく。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
指定区域における公有化は、平成30年度をもって完了したが、史跡整備に着手するまで、公有化後の土地の維持管理の効率化が必要である。また、史跡整備に向け、令和4年度に整備基本計画を策定し、その後、実施計画を策定する前に、整備工事に伴う発掘調査を行うが、史跡整備の完了までは、さらに長期間かかる見込みである。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
史跡公園として整備するため、保存整備委員会を開催し、整備基本計画等の策定に向けて協議を行っていく。なお、整備の完了を早めるために、令和4年度から、公有地内の建物の基礎部分の除去に伴う発掘など、史跡整備に向けて必要な発掘調査を実施していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開
□縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置

方向性の具体的内容
史跡公園としての整備や、それに伴うガイダンス施設や駐車場など、指定区域外の土地の公有化には多額の費用を要するが、導入可能な文化庁以外の補助事業を調査検討し、市財政負担の軽減を図っていく。

2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））
□拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開
□縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。